

丁寧な熱心な作業も技術の一つです！！

フロートスイッチの故障、原因は……！！



写真-1

写真-1は、ディスポーザー排水の中継ポンプ槽です。

夜間に満水警報がなり急遽出動となりました。

現場は、写真の通り満水でした。

- 1、初めに手動運転で水位を下げ、満水を解除しました。
- 2、次にフロートスイッチを引き上げて、上下するとポンプは動きました。
- 3、その後、中継ポンプ槽に水を入れましたが、フロートは浮上せずポンプは停止のままでした。
- 4、原因は、フロートの電線の硬化でフロートが浮上しないことと分かりました。
- 5、急ぎフロートを交換し、一応正常運転を取り戻しました。



写真-2

写真-2は、ディスポーザー排水処理槽の床排水ポンプです。

現場から当該ポンプが動きっぱなしで止まりません、と連絡がありました。

1、急ぎ現場に駆け付けると写真の通り、水が無いのにポンプは稼働中でした。

2、フロートを引き上げて上下すると、直ちに停止しました。

3、原因は、フロートが自由に動きにくい支持方法での固定と、
フロート電線の硬化と判断致しました。

4、尚、当該設備は弊社のメンテ範囲外ですが、
フロートスイッチの交換を要請中です。



写真-3

写真-3は、写真-1の撤去フロートです。写真-2のフロートも同型です。

弊社取扱いフロートの約2倍以上の重量があります。

フロートは、長期間の使用で電線が硬化しますが、

当該フロートは硬化が速いです。

今後の対策

- 1、緊急用フロートを常備する。
- 2、故障が生じた時は直ちに緊急用で対応し、正常運転を取り戻す。
- 3、故障の恐れを早めに通知し、緊急事態を避けることとする。

※写真-1は修繕提案をしていましたが、修繕発注が遅れての事象です。

※写真-2はメンテナンスの範囲外ですが、連絡があり対応させて頂きました。

水物語 No61

春です！「こぶし」が咲き誇っています……。

こぶしは、昔から農村で大切に育てられてきました。そのお蔭で日本全土の山林に自生しています。木は大きく伸び満開の花の美しいのが特徴です。そのこぶしは、白く大きい花を咲かせ春を告げる花木として親しまれてきました。

農家で愛されたのには訳があり、ヤマザクラ「こぶし」の花の開花は、田植えを始めるサインになっていたようです。別名「田打ち桜」は、そんな役割からつけられた名称です。

桜が咲くころに、自然と良い香りが漂ってくる木は「こぶし」です。桜と同様に葉が出る前に咲き満開となります。そのため木が一面真っ白に見えるほどです。

3月～4月、各地で「こぶし」が咲き誇ります。文字通り、桜とともに春一番の使者を演じています。そんな「こぶし」東京の歩道で見上げれば、なんとも言えない清楚な情緒、凛とした佇まいをしています。

汚泥ゼロ・臭気ゼロ！

DSPハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス東京

